

安城市 市民参加条例と 協働に関する指針を考える 市民会議



第1号

今年度「協働編」クライマックス！

みなさんこんにちはー！
3月に入り、ようやく春めいてきましたね。でも三寒四温、まだ寒い日も続きますのでくれぐれも用心を。

さて、あんねっとでは協働編でのワークショップの意見をもとに「協働に関する指針（市民会議の中間まとめ）」を作成しました。この「中間まとめ」で協働の考え方を整理し、来年度はより具体的な内容について議論を深めていきます。

また、1月26日に審議会から安城市市長へ安城市市民参加条例（案）を答申しました。2月9日の例規審査会を経て3月議会に上程されます。

2月27日には、あんき会と合同で、自治基本条例施行1周年を記念した「お茶しながらわいわい語り合おうかい」を共同開催しました。若い方の参加も多く、幅広い年齢層の参加があり、大盛況でした。

来年度も引き続き、たくさん
の情報を発信しますので、
宜しくお願ひします！



第15回

2011. 2. 16



協働に関する指針 市民会議(案)の確認！

ステップ4の協働編でのワークショップをもとに協働に関する指針（市民会議の中間まとめ）を作成しました。あんねっと⑮では、それに対し皆で意見を出し合いました。



発行／安城市市民参加条例と協働に関する指針を考える市民会議
事務局／安城市 市民活動課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL : katsudo@city.anjo.aichi.jp
HOME : <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

●「あんねっと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
●どんどんお寄せください。お待ちしております。



最後に、これまでのあんねっとを振り返っての「気づき」や「発見」の報告、安城市の市民参加、協働推進のためには何をやるべきかを確認しました。

市民参加条例は、パブリックコメントの結果について、審議会⑤及び例規審査会②の様子を報告、修正された市民参加条例「議会上程（案）」の確認をしました。

全体トークでは、まずバストークを行い、1人ずつ確認したいこと、気づいたことを挙げて、よりよくするための提案をしました。

あんねっと⑮は協働編の中間まとめの指針の「市民会議の中間まとめ（案）」の提示があり、全体トークで「中間まとめ（案）」をよりよくするために「は？」を行いました。

全体トーク「中間まとめ(案)をよりよくするためには？」



『確認したいこと』

協働の実績少ないって、ホント？／大企業のCSR活動は充実しているが、中小の会社は？／スクールガードはやってるよ！地域と学校の連携／安城学園、サンクスフェスタで協力してくれている／安城の町内会活動は全国的に見れば活発。ただ地域によってバラツキがある



『よりよくするために』

何を言いたいかわかりやすく。市民の食いつきが悪い。多分最後まで読んでもらえない／「協働」をどのように市民に広めていくか？工夫したい／安城らしさがほしいね、今はないので七夕を入れてみては／活動情報のお知らせがあると良い／市の「できている点」の補強が欲しい／事例集をつけるとよい／マンションと既存集落との関係性も補足して欲しい



『より詰めていきたい』

生涯学習、ボランティアコーディネーターについて回数、サイズ、規模など今後詰めていければ／推進計画は1年に1回程度となってしまうか／どうしても参加できない人のことはどう考える？／参加できない人を巻き込む。やさしくできる仕組み／「市民活動団体」はどこまで含む？／わかりやすくアピールする力が不足している



裏面へ続く

ちょこっとコラム～春の訪れ～

いろいろな節目となる3月です。冬から春へ、街の風景も大きく変わりますね。桜をはじめ、いろいろな植物が長い冬から一斉に目覚めたかのように咲き始めます。新年度が始まり、新入生、新社会人が初々しい姿を見せてくれます。あんねっとでも、1年間以上議論してきた「市民参加条例」がいよいよ4月から施行となる予定です。さらに、「協働の指針」の詳細検討がスタートします。(大)

ひとことアンケート

あんねっと⑮ 平成22年度の活動を無事終了することができ、大変に良かったと思います。来年度から本格的な協働の指針が始まるのが楽しみです／参加している皆さんがとても前向きで、気持ちのいい時間を過ごせました。

協働の話し合いに参加していなかったがよく理解できた／素晴らしい素案を作っていたいただいた行政担当者の各位に心より感謝したい。これからもこの中間報告書を中心に議論を深めたい／これまで皆さんで話し合った中で、築き上げられた指針が来年から具体化されて、条例も人もパワーアップしていくことができるよう願っています。

市民参加条例～パブリックコメント 提出意見と市の考え方

パブリックコメントは昨年の12/6～1/5にかけて意見募集が行われ、19名の方から応募がありました。以下に応募意見と市の考え方について、一部抜粋したものを紹介します。(○：応募意見 ●：市の考え方)
提出された意見により、市民参加条例について修正した事項はありませんでした。
○直接民主主義の導入です。この条例のもっとも意味のある部分なので、その告知をしなければいけない→●この条例が有効に活用されるよう目的及び内容について、充分市民に周知していきます。

第5回目の審議会は、3つの議題について行われました。①市民参加条例(案)に対するパブリックコメントによる提出意見と市の考え方について、②市民参加条例の今後のスケジュールについて、③市民会議における協働の進捗状況についてです。
本審議会をもって修正した市民参加条例案を、3月議会に上程します。

第5回審議会

2011. 1. 25



お茶しながら
わいわい語り合おうかい

2011. 2. 27



自治基本条例1周年記念であんき会、あんねっと、安城の共催による「お茶しながらわいわい語り合おうかい」を安城市民交流センター多目的ホールで行いました。
市民が主体となり企画・立案から当日の準備まで手づくりでつくりあげ、行政は飲み物のサーブ等、サポート役に回りました。スタッフを含め総勢88名が参加し大いに盛り上がりました。
おしゃべりタイムでは、8つのテーブルにそれぞれ異なるテーマを設定し、参加者は各自好きなテーマのテーブルに着き、他の参加者と議論しました。
その後は各テーブルで出された意見を前に掲示して、参加者全員で共有しました。

おしゃべりタイム～各テーブルコメント

	今日、印象に残ったこと(キーワード)	明日から私が取り組みたいこと(はじめの一步)
①	若い方と交流できたこと／一日を大切に挨拶運動／ふれあいに場が広がった／情報交換の場ができた／正面に立って挨拶をする／安城のためにみんな考えを持っていて素晴らしい	一声運動(挨拶運動)の励行／お互いに支え合い、支え合える町に／明日から行動してみよう／若い人の町内参画する機会。人の話し合いに参加する
②	まず一歩を踏み出す／「街路樹にブルーベリー等実のつく木を植えれば」というのは面白いと思った／自分の命は自分で守る。地域との絆が大切／思いを持った人との会話は楽しい	いろいろな人に今日の話をしてみる／ワイワイ楽しくゴミ減らし運動／もっとゴミの分別に力を入れたい／なるべく自動車を使わないで「歩く」「自転車」でを実行したい
③	自分の命は自分で守る／人と人の絆はどんな時も大事である／皆様いろいろな考え方を持っておられることがわかった	災害に対する備え／災害時は自分の命は自分で守れ。水は常時確保する／隣人との絆を強く／助け合い
④	防災意識の個人差がありすぎる。市としてのPRをしたほうがいい／安城市の未来を真剣に考えている人がたくさんいた	仕事をがんばります／未来を真剣に考える人に私もなりたいたい／自分の生活について、もう少しお金を使おうと思った
⑤	既存のものを変えるのって難しい／市民の考え方が多様であること／いろんな意見が聞けてよかったです	「まち」をいろいろな見方で見て、生活をして行こうと思います／田んぼの道を、街の道をこまめに歩くこと
⑥	地域デビューするため65歳までに準備／楽しい町にする努力／まちづくりについて熱い思いを持っている人がこんなにたくさんいるのかと感動した／視野が広がった	シニアと女性の力を活かす／少しでも多くの人とつながる／電話をしよう／定年までに地元としっかりつながりをもつ／ゴミ拾い／いろいろな面で勉強になる
⑦	各町内会の方針が良く理解できた／役割＝生きがい／町内でのボランティアグループ／地域の絆が大事	高齢者と若い人の交流の方法がわかった／あいさつ、声かけ／隣近所との交流／みんなと仲良くしよう
⑧	安城のゴミ問題を真剣に取り組むことが素晴らしい／コミュニケーションの大切さ	子育てに悩んでいる若い人がいるということを聞いて、注意して見守ってあげたい／知らない人にも挨拶をする

8つのテーブル～異なるテーマ

1テーブル約8人で、それぞれ異なるテーマについて30分の話し合いをしました。2回に分けて席替えを行い、参加者は2つのテーマについて議論を行いました。参加者は話し合いをしながら、テーブル上の模造紙に意見を集めました。

～8つのテーマ～

- ① わがまちの町内会自慢！
元氣な町内会にするには？
- ② 安城のゴミ問題、大いに語りましょう
- ③ みんなのまちをみんなで守ろう
～安城の防災力向上～
- ④ 元氣な商店街
～市民が出来ることって何だろう？～
- ⑤ 水や緑の自然資源を活かしたまちづくり
- ⑥ あなたが住みたいまちってどんなまちですか
- ⑦ 子どもから高齢者まで
安心して暮らせるまちを実現しよう！
- ⑧ フリーテーマ



みなさん、たくさんの意見交換お疲れ様でした！

ひとことアンケート

＜全体を通して＞安城市の将来について考えている方がたくさんいることに安堵した気分でした／初対面の人とも楽しく話ができた

＜自分の考えを伝えられた？＞席によって明確に話題を設定することで議論をしぼった議論をすることができた／ごみ拾いをうまく伝えられた

＜他の参加者の考えを理解できた？＞町内でボランティアグループを作ると良いとの意見が聞けた

＜是非持ち帰りたい想い＞ブルーベリーを緑道に植える／安城名物に有機発芽米五平餅／レンタル自転車／挨拶

＜今後おしゃべりしたいテーマ＞IT／婚活／



新年度(H23)の協働に関する指針を考える市民会議メンバーを追加募集します！

- 協働に関する指針とは…「安城市自治基本条例」での「協働」の定義に基づき、行政、市民活動団体、事業所などの団体が協働してまちづくりを進めていくための役割や具体的方法をまとめるものです。
- 役割…策定審議会が指針を策定するために必要な素案をまとめます。会議は4月下旬から月2回程度原則平日の19時～21時までの2時間程度開催する予定です。
- 応募資格…安城市に在住、在勤、在学又は活動されている方
- 追加募集人数…20名程度
- 応募・問合せ先…安城市役所 市民生活部市民活動課市民協働係



私たちのまちは、私たちの手で作る！

「みんなが幸せに暮らせるまち」

の作り方を一緒に考えましょう！